



## 地域未来の学習

消防団 × 小学生 = 憧れ

(つなげる つながる)

大阪狭山市における学力向上の取組みでは、「つなげる・つながる授業」を大切にしています。今年度から始まった「地域未来の学習」では、さまざまな地域の方々とのつながりが生まれ、それが子どもたちの学習意欲の向上につながっています。



西小学校

消防団の方々には、地域における消防・防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心・安全を守る重要な役割を担っています。



第七小学校



南第三小学校

実際にロープや消防車に触れ合う子どもたちの目は、輝きに満ちていました。

北小学校

東小学校



消防団の方が「大きくなったら消防団に入ってくれる人はいるかな」と問いかけると、多くの子どもたちは「はい!」と答えていました。自分たちもカッコいい消防団になりたいという、子どもたちの強い憧れが伝わってくる授業でした。

地域防災

×

中学生

(つなげる つながる)

=

地域防災への  
自覚

第三中学校では、地域未来の学習として「防災授業」が進められています。大阪狭山防災レンジャー、地域自主防災組織、地域学校協働活動推進員、そして教員が連携し、「地域防災への自覚」につながる授業づくりが展開されました。



まず、教員と地域の方々が連携を図るため、ミーティングや「段ボールベッドの組み立て体験」を実施しました。この体験を通じて、教員が防災に関する具体的な知識と地域のつながりの重要性を感じる機会となりました。



当日の防災授業では、防災士の資格を持っておられる西小学校地域学校協働活動推進員の山本さんから「防災の心得」を講話していただきました。



体験学習として、大阪狭山防災レンジャーによる「備蓄食を分ける体験」と、地域自主防災組織および教員による「段ボールベッドの組み立て体験」が行われました。生徒たちは、どの体験にも積極的に参加し、地域防災について深く考える貴重な機会となりました。